

現業独自要求に向けて討議

現業協議会は、6月16日(土)に上田市 ろうきん上田支店会議室において、第1回委員会・第1回常任幹事会を開催しました。議長あいさつ、経過報告の後、現業独自要求に向けて討議しました。また、現業独自要求だけでなく、教育委員会、建設部及び農政部の部局交渉に参加して意見反映するよう要請しました。その後、職員録と現業組合員名簿を照らし合わせ、修正作業を行いました。



会議では、2020年4月から導入予定の「会計年度任用職員」について説明がありました。現在行われている「新たな雇用(特別行政事務嘱託員)」に代わる制度になる予定ですが、導入にあたって農政部と教育委員会で話し合いを行う必要があります。任用替職員がすべて新たな雇用に振り替わったら職場はまわっていかないという意見がある中で、「会計年度任用職員」制度がどのように運用されるのか追及しなければなりません。また、建設事務所ではダム技師の補充や維持系の任用替職員の不足について所長会でも議題となっていることから、早期の話し合いと交渉を求めていくことを確認しました。新規採用を要求するべきとの意見もありました。要求書については文言を整理して後日配布することとしました。